



八王子盲学校だより



令和5年9月発行 第5号

東京都立八王子盲学校長 安田 咲登子

夏から秋へ

～ 仲間とともに体を動かす楽しさを～

校長 安田 咲登子

この夏は、猛暑の記録更新のニュースが流れる毎日でしたが、夏季休業中には部活動や補習に頑張る生徒達の姿が見られました。暑い中、汗をかきながら登校してくる様子には頭の下がる思いでした。先日、北海道にある盲学校の校長先生にお会いする機会がありました。北海道では8月中旬から2学期が始まっているそうですが、経験したことのない暑さだそうです。学校や寄宿舎には冷房がなく、「子供たちが気の毒だ。北海道にも冷房が必要な時代になった。」とおっしゃっていました。

本校では、次のページにあるように、外部の方向けの行事や研修会等が本格的に再開でき、教職員が専門性向上のために様々な場所で行われる研修に参加することもできました。中でも7月26日(水)に行われた「あいサポート研修会・相談会・体験会」は、視覚障害のセンター校として継承されてきた本校の特色ある事業です。今年度、「特別支援教育の理解推進に向けた障害者スポーツを通じた交流の推進」に関する研究指定を受けたことを踏まえ、テーマを「視覚障害者と介助者から学ぶ生涯スポーツ」としました。視覚障害スポーツは 様々な種類がありますが、障害の有無に関わらず共に楽しむことができるものが多くあります。世界を目指したチャンピオンシップスポーツには魅力があります。何かに本気で打ち込んで成果を上げた方々は、礼儀正しく、公正で周囲の人とうまくやっていく力を身に付けているように感じます。また、勝ち負けにこだわらず自分のペースで楽しむスポーツも素敵です。運動を生活に取り入れ、リフレッシュしたり、体づくりをしたりすることで生活は一段と豊かなものになります。昨今の過酷な気象条件や、子供たちの遊びの変化の中では、体を動かす機会は減っているといわれています。また運動する人、しない人の二極化が進んでいるともいわれます。学校では、遊びや体育や部活動などを通じて、まず「体を動かすことが好き」という気持ちを育てていきたいと考えます。その気持ちが土台となって健やかな体をつくり、生涯に渡って運動・スポーツに親しむことにつながるでしょう。さらに卒後の生活においても趣味をとおして仲間を増やし、心も体も社会的にも健やかな「ウェルビーイング」な状態に導いてくれることと思います。

< 今後の校舎改築に関する工事等の予定 >

9月より、仮設校舎建設現場の仮囲い設置工事に向け、東門から部材の搬入等が始まります。安全や、騒音に気を付けて参りますので、御理解と御協力をよろしく願いいたします。

< 授業参観について >

9月29日(金)、30日(土)は、全校授業参観日です。今年度は他学級・他学部の授業を教室内で参観いただくことができます。保護者の皆様の御来校をお待ちしております。

① 部活動の報告(スポーツ部)

主任教諭 山田 智生

本校のスポーツ部は、7月8日(土)に千葉ポートアリーナにて行われた第54回関東地区盲学校フロアバレーボール大会に出場しました。昨年度から取り組んできた練習や横浜市立盲特別支援学校との練習試合の成果を発揮し、筑波大学附属視覚特別支援学校と接戦の好ゲームを見せましたが、残念ながら敗れてしまいました。3年生は本大会をもって引退となり、夏休みからは新チームでの練習が始まりました。夏休みの部活動は、暑さに負けず10日間活動しました。体力づくりや基本動作の練習を重点的に行い、ゲーム形式を通してルールを学びました。8月4日(金)には都立久我山青光学園と合同練習を行い、他校の生徒と一緒に練習や試合をし、充実した時間を過ごしました。夏休みの練習を終え、生徒たちは技術が向上するとともに心身も少し頼もしくなりました。2学期も引き続き部活動に励んでいきます。

② あいサポート研修会の報告

主幹教諭 南部弥寿子

7月26日(水)に、「あいサポート研修会・相談会・体験会」が実施されました。

今年度のテーマは「視覚障害者と介助者から学ぶ生涯スポーツ」です。講師に、元パラリンピックタンデム選手の大城竜之氏とパイロットの高橋仁氏、マラソンクラブ所属の高橋しのぶ氏と伴走者の山口陽子氏を迎え、競技との出会い、競技の紹介、魅力、今後の抱負などを、それぞれの立場からお話いただきました。その後、本校の職員も交えて「生涯を通じて楽しめる視覚障害スポーツ」と題して座談会を行いました。フロアバレーボール、卓球、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、柔道等の競技が紹介されました。

体験コーナーでは、視覚障害スポーツの他、点字、弱視シミュレーション、マッサージ、ICT機器と補助具などの体験をしていただきました。展示コーナーや相談コーナーも設けられ、充実した会になりました。

③ 育児相談同窓会の報告

教諭 阿部 史歩

7月27日(木)に、「育児相談同窓会」が実施されました。

小学3年生までの、育児相談経験者が久々に顔を合わせ、遊んだり、情報交換をしたりする催しです。今年度は7組の親子(保護者7名、乳幼児3名、小学生7名)が参加くださいました。

まず、自己紹介で近況報告などをし、軽く準備体操で身体をほぐしてからは、「わいわい夏祭り」の始まりです。魚釣りやヨーヨー釣り、ストラックアウトやボールプール、特大ダイヤブロック等、たくさんのあそびの中から、好きなものを選んで楽しみました。介護体験生の協力も得、安全に運営できました。

旧交を温め、明日への活力を得る、温かい会になったと思います。

④ 理療科オープンキャンパスの報告

主任教諭 上野 敬太

8月22日(火)に本校理療科オープンキャンパスが実施されました。参加者は4名、御家族等が3名来校されました。

西洋医学や東洋医学の基本的な学習や実技を「肩こり」をテーマに行い、鍼灸治療で用いるはりやもぐさを触ってみたり、理療科に関わる教室を見学したりしました。次年度は仮設校舎へ移転するため、今ある校舎で入学後学習することも多くはありませんが、歴史ある校舎を感じていただきました。

参加者からは学習内容の多さや難しさ、はりを実際に打つことの大変さが分かった、思っていたより高度な勉強をされていて驚いた等の感想をいただきました。本校への入学、理療への進学について理解を深めていただく良い機会となったようです。